再軍備に何故反対か

＝向坂教授質問に答える＝

本文は去る七月三十日宮浦支部委員会の労働講座に於て向坂教授をかこんだ質疑応答の摘録でありますが、速記をとつたわけではなく筆者のメモと記憶を土台にまとめたものでありますから、文責は全て筆者にあることを初めにお断りして向坂教授並びに読者の御諒解を得たいと思います。

ソ連の侵略に對して再軍備は必要ではないか？

（答）ソ連や中共が今にも侵入して来るかの如く宣伝して再軍備の必要を力説する人達が多いが、ソ連を観て来た人達の話を聞いても、現在ソ連が大々的な侵略準備をしているとは考へられない。

イギリスでも「バターか大砲」で有名な労働党のベヴアン氏を先頭に戦争反対（国民生活を守るための軍備拡張反対や対米追随外交反対等を含めて）の声が急速に高まつている。

ソ連側と直接隣り合つている西ドイツの新聞論調も、ソ連に対する恐怖心は見られない。むしろ東西ドイツの統一が論議され、若し再軍備を国民投票で問えば七〇％の反対があろうと伝えている。

アメリカを含めて各国の勤労大衆や婦人団体等が第三次大戦を防止するため、また国民生活を圧迫されるという理由から再軍備に反対しつゝあることは注目すべき事実ではあるまいか。

また「外国に対し武力革命の輸出や強制はなすべきでない」と言うのが、マルクス、エンゲルス、レーニン等の一貫した理論であるし、ソ連の経済力即ち戦力は、アメリカに較べて遥かに劣つているから日本を侵略してアメリカとの開戦を覚悟する筈もない。

八月号「改造」で元陸、海軍大学教授の菅井氏と杉田氏の共同執筆になる「現代戦の様相」で論ぜられているように、ソ連空軍は長距離を重爆弾や原爆を積んで飛ぶ爆撃機に主力を置かず、専ら戦闘機による地上援護や敵の重爆を迎撃することに力を注いでいる。両氏はソ連を戦術兵器主義と呼び「第二次大戦中、都市の非戦闘員に対して無差別爆撃を行使しなかつたのは、ソヴエト空軍だけである」とさえ書いている。戦術兵器に対して戦略兵器主義というのは原爆や重爆弾により第一線後方の非戦闘員の大量殺戮を狙うものであることはいう迄もない。海軍に於ても空母や戦闘艦よりもソ連では潜水艦に主力を置いているから、海洋を渡つて他国を侵略することを目標にしているとは考えられない。如何に勇猛なソ連軍でも大砲をかついで日本海を泳いで来ることは出来ないだろう。

最後に日本の経済力はイギリスの二〇％、西ドイツの四〇％位で、このような国民所得で再軍備を強行したら我々国民の生活は一体どのようなことになるだろうか。

今迄述べたように、少く共、現在や近い将来に、ソ連が日本を侵略するということは全く考えられないのである。

一方、アメリカ国内では日本人を戦線で使えと言う議論が行われているし、吉田内閣はあらゆる宣伝を以て「侵略」の恐怖を国民の素朴な愛国心に訴えて「再軍備」を説くだけでなく憲法に違反する戦力保持を実施しつゝある。

武力革命を押える自衛再軍備は？

（答）満洲は日本が侵略したのであつて、ヤルタ協定に基きアメリカやイギリスがソ連に要請したので、終戦直前にソ連は満洲に侵入して来たのである。これは日ソ不可侵条約やソ連の意志とは別個の問題で、これを以てソ連の侵略行為であるとは言えない。

それから、共産党の闘争手段に就ては党内からも批判が出ているようだが、我々としても大きな批判を持ち反対している。特に現在の彼等の戦術が日本の革命を成就せしめたり、革命を近づけたりするものとは考えられない。彼等が火炎ビンをいくら投げても日本に革命は起らない。日本の革命は、日本の労働者諸君が本当に社会主義社会を造ろうという意志に燃えた時にのみ起り得る。しかもそれは武力革命でなくとも可能なのである。

従つて、労働者階級から遊離した戦術をとる共産党が武力革命を考えたとしても、それは現在の警察力で充分である。そのために自衛（治安）再軍備を認めることは出来ない。

私自身偶然にも新宿駅で、デモ衝突を見たが、警官隊が突込む時に通路をめがけて火炎ビンが投げられたが、臆病な私でさえ恐ろしさは感じなかつたし、怪我人も目撃出来なかつた。ところが翌日の新聞では「従来の火炎ビン戦術より計画的で規模も大きく警官隊に十数名の負傷者が出た」と書かれていた。こういう風に宣伝されているのである。若しあの日が大規模であるというなら従来の火炎ビン戦術は子供の花火を一寸大きくしたようなものではないかと思われる。

要するに日本に武力革命が起され成功する要素は全くない。

國連加盟のための再軍備は？

（答）国連加盟についての私の意見は別にあるが、それは別として、国連に加盟するために軍隊を所持しなければならないという規約は無い。これは政府筋も言明しているようだ。

外交を有利にする爲再軍備は必要ではないか？

（答）マグロの漁業協定で非常に日本が不利だつたのは事実だ。だがマグロだけでなくアメリカとの「行政協定」で裁判権や基地問題等々で常に我々は不利である。然し「力による外交」を考えるならば、当然、アメリカ以上の軍備をしなければならないことになりこれはマグロの不利どころの問題ではない。また西ドイツも軍備を持たないが、生産復興も日本以上だし、貿易も仲々良い。

また、アメリカから軍備を貸して貰えという議論もあるが、アメリカは日本に貸した武器が自分の横腹に突きつけられることを承知の上で、日本に武器を貸す筈はない。これは傭兵的再軍備で、決して日本の自主的な軍備にならない貸主の意図通りに動かされることになるからである。

しかし、色々な条件に変化が生じ、その時の情勢に基き自主的な軍備を検討する必要が、将来起る場合があるかも知れないとは考えている。

（文責者　宮浦　蓮尾信次郎）

慰靈と平和を希う盆踊り

終戦後七回目の盆を迎えた社宅風景は慰霊と平和を願う盆踊りで大賑いであつた。この程社宅の行事に地域分会がリーダーとなりお互が踊りの振付をなして自主的な発展を辿つている。両満務所南社宅では同社宅の地所が元墓地であつたので無縁仏供養を中央より尼僧を招いて行い併せて十五、十六両日に亘つて深夜迄盆踊りで賑つた。

三菱に現れた職場防衛隊

組合の骨抜を企む

露骨な圧制に憤激たかまる

日経連が主唱する〃職場防衛運動〃が最近三菱の各山にも現れ「破壊分子から職場を守る」という口実の下に各職場の係員や外勤などを利用して積極的な産報運動を展開している。これは三田村四郎や鍋山貞親らの唱える愛労運動と軌を一にするものであり、この運動の首謀は明らかに御用分子であり、反組合分子である。

会社は先ず各職場の腕力のある係員に防衛隊長の肩書を与えて（もつとも頭ばかりで隊員と称するものはない）各職場で集会をひらかせ「夜間職場の周辺に怪しい者がいたら捕えるか報告するように」と全く警察官のような訓示を行い今にも職場が破壊されるような錯覚を起させ、反共観念を植えつけその中から会社への従順を強制しようとしている。防衛隊に任命された係員は全く昔の将校　取りで「当然守るべき拠点は、坑口、送風機、安全灯室、他何々…」というような想定を与え、しかも「諸君一人々々が隊員の心構えで職場を守つてもらいたい」と、既に働らく者全員が防衛隊員であるかのような口ぶりを示している。これに対し組合員の間では、明らかに戦時体制への逆行であり、職場を産業報国隊に復活させ、天下り職制によつて強制労働につかせようとする職場破防法だとして不満の声がたかまつている。一連のこれらの動きは、日経連の一貫した労働対策であり、反共の口実の下に労働者を抑圧し組合を生産協力団体にすりかえようとする会社の悪らつな手段である。これに対し組合員は「こんな職場防衛運動など誰が協力するものか」と無言の抵抗を行つているが、個々の力ではどうにもならないので強力な職場の団結でこのような御用分子のボイコットをしようとする動きが現れている。かくて思うに任せず焦立つた職防隊長は、酒を飲んでは怒鳴り散らし、全く狂気じみた態度をとり益々働らく者の憤激を買つている。

雲仙へ千圓で行ける

―健康保険が協定―

去る七月二十六、二十七の両日に亘り三井三池健康保険組合理事、国友課長、鉱組竹下厚生部長、職組藤岡厚生部長三名は組合員及び家族の要望に従ひ理事会の決定により島原及び雲仙に出張した結果指定保養所として二ケ所の旅館を指定し被保険者及び被扶養者の便宜をはかり併せて大牟田―島原間の割引乗船券を発行し八月九日より実施する事に決定しました。

内　容

一、旅館名及び所在地

福智屋旅館　島原市中掘町（港より徒歩で約十五分、商工会議所の前附近）

湯元旅館　雲仙町（バス終点よりゴルフ場へ徒歩で約一分）

一、利用料金

一泊　六百円（大人）

〃　四百円（高校中学生）

〃　三百円（小学生）

その他実費額

内　譯

	大人	学生	小学生其他
宿泊料	二百円	百円	無
夕食	〃	〃	百円実費額
朝食	百円	〃	〃
中食	〃	〃	同右

休憩のみ各百円

★乗船券

二等往復＝五六〇円を四四〇円に　割引

三等往復＝二八〇円を二二〇円に　割引

★利用方法

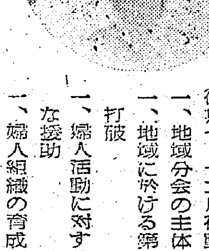
三井三池健康保険組合の被保険者及び被扶養者に限り各鉱所人事係を経由して当組合へ現金持参の上申込めば当組合より保養券及び乗船券を発行支給します。なお前記旅館に空室なき場合は同旅館の責任において他の旅館を斡旋します。

焦点

三月五日第九回中央委員会で我々は昭和二十七年度の行動方針を確立し本部、支部、職域、地域でたゆまざる努力がなされ来つた。中間ではあるけれど行動方針が如何に実現し来つたかその焦点を地域分会にむけることゝし先ず先般緑ケ丘分会で統合が実現されたので緑ケ丘連合分会長酒井氏にその経過をきくことゝした。

前進する地域分會

三川支部緑ケ丘地域分会連合会会長　酒井善爲



何の本だつたかにこう言う事が書いてあつた。

「労組は組合員の団結は非常に強い、又幹部も実によく闘い組合員に対する説得力は大したものである。しかし家庭に帰えると向う三軒はおろか自分の家でさえからきし駄目であり意気地がない」

仲々うがつた事を言つて居る私自身、身に覚えがあるので自分の心に反問して見た。

◎家に居る時位は何も彼も忘れて解放されたい気持。

◎話をしてうまく行けば好いが下手をすると井戸端会議で批判される、それが近所だから余計こたえる、まあさわらぬ神に何とやらの桑原型。

◎貴方が要らん事を言ふからいかん、近所の事は女子に任して置けと許り妻が得たりや応と主権在妻の夫随を遺憾なく発揮する。

大体これ位だろうと思うが、まあだまつて居た方が双方の利益と言う事になり、組合の闘士も案外家に帰えれば長いものにば式になつてしまうのではなかろうか？

閑話休題、さて地域分会の事を報告し乍ら考えて見よう。緑ケ丘に三川の地域分会が出来てから八ケ月位になるが、私達がしみじみ考えさせられた事は地域では中央委員会の様な演説では人はついて来ない、それと婦人の協力がなくては何も出来ないという事である。それで発足当時の規程には（現在も）婦人層を全員正会員として役員にも入つてもらう様な組織構成をした。これには若干異議もあつたが大過なく通過を見た。併しこれからが大変であつた。緑ケ丘三川関係だけで四、六〇〇人の大世帯をどうして統一ある方向へ仕向けて行くかが問題であつた。そこで先ず二、三の人達と計つて行動方針に似た様なものを作つて見た。列挙して見ると

前期一―六月組織強調期間

一、各町内組織の強化

一、存在価値強調の意味に於ける積極的な苦情処理

一、主婦を対象とした問題を強く取り上げて関心を高める

一、悪法反対の為の活動

一、荒尾市長選挙を労組の指向する線に闘い取る

後期七―十二月行動期間

一、地域分会の主体制確立

一、地域に於ける第三勢力の打破

一、婦人活動に対する積極的な援助

一、婦人組織の育成

一、盛り上つた力で国会選挙を階級的に闘い取る

以上作つて見ると重複した処もあるし、最初の事ではあり余り自信も持てず、うつかり発表して大風呂敷の下敗になつては困るとも思い皆に流さず終いになつた。

この中で一番考えたのは主体性の問題であつたが、地域の現状から見て最初からどんどんと打出すとかえつて逆な現象も現われる可能性もあり後期にまわした。しかしこれは今迄の経過から見て大体正しかつたと思う。

此の前通勤列車の中で口論をして居た人達を目撃していた人の話によると、これは極端な例であるが、最初地域分会に対する提案か何かで口論をしていたが、遂にお互に激し双方立上りスワ!!と思つたが仲裁が入りまあ〳〵と言う事で仲直りをしたとか。市の嘱託員の業務に就て不満ダラダラだが、今迄どうしようもなかつたので此の際地域分会で取上げて改革をしてくれとか簡易郵便局を特定局にする為の運動をやつてくれ、或いは防火水槽の水をかえて僕達を泳がしてと子供達の要求、下水の流れが悪い、新聞配達がおそい等々会社はいわずもがな市の問題、一般の問題色々な苦情が出て来る。現在来て居るものだけで処理未処理合せて二百件有余、まだまだ出る見込である。

婦人部が坑口繰込場の活花慰問其の他婦人特有の問題を自主的に決議もし又協力依頼をして来る。

労組の決定による国会選挙推進等々近頃地域分会は非常に忙がしくなつて来た。もうぼう頭に陳べた様な呑気な事は言つて居られない、又地域の人達も列車の中で、或いは現場で地域分会の話をする様になつた。

所期の目的は達したこれからだと思わず快哉を叫びたくなる。近頃程皆の協力と団結をうれしく感じた事はない。

最初はいくら膝詰で入れ替り立ち替り話をしても解つてくれない人、反対の為の反対のみに終始する人、宇余曲折投げ出す気持になつた事もあつたが遂に皆の力で征服した。

今では微々たる動きではあるが緑ケ丘の分会は兎にも角にも前進を続けて居る。今後の御協力を御願いする所以であります。

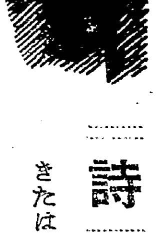
眞心に咲く花

婦人部が毎週活花慰問

何の彩りも潤いもない坑内で汗する夫や息子、更にその同僚達を少しでも慰めたいと、三川支部緑ケ丘地域分会婦人部では、各町交替で切花を持つて坑口慰問することを自主的に申合せ、その第一回として、婦人部長の中村アヤ子さん初め幹部が十八日三川鉱を訪れ、繰込場や坑口を心づくしの花で飾つた。今後毎週月曜日、篤町をトップに各分会が交替で慰問を行う。

詩

きたはらかずお選



佳作（一）　野風呂

上野信幸

此の肉体が
人なみな恋をしようという。
褐色の細い腕。
此の太股で
みちの真中を往くという。
生白い爪の先。
ひらべつたい肩先が
胸をそらして気どるという。
灰色のかご。骨ならび。
涙ふき
シャツを着込んで
やつと、人間だ。

（本所）

佳作（二）　眞晝の悲しみ

吉井嘉六

なぜだらう？

ひとは未だ生きてゐるといふのにいゝえ、先刻まで、取戻された淡きおのれの青春のよろこびに楽しくつかつてゐたのに、どこからともなく湧出してくる、一オクターヴも音色のはずれた、あの華やかな挽歌は――

そして君は君で、おのれの不思議な暗黒を彷ひながら、しきりにこのぼく達を慰めやうとばかりする。君よ、「僕は生きてゐる！」さう強く叫ぶことが、なぜ、いけないのだらう……しかし、ぼくはもう知つてゐる。ぼく達の世界では、生の無残よりも、法の残酷が問題となるのだ！

にごつた眼が空気の中で鋭く光つてゐる。生きる方向を喪つたひとびとは、もはや、自由の意味に疲れ、しやがみ込んだ砂の上に、せめてもの慰めに、おのれの肉を削り、血の地図を描きはじめる。

しかし、海は遠い。

（三川）

佳作（三）　白樺の部屋

松村重孝

白樺の――
香り新たな部屋ありき――
ほの〴〵の――月の光を。
青白き――
硝子の窓に映げえる
部屋ありき。
百年の――
「きんな」の葉枝の梢の
間に〳〵
淡き――
星の流れを
心に留める。
白樺の――
香り豊かな部屋ありき――

（港務）

佳作（四）　手術台

海付昭四郎

なま〳〵しく
したゝり
しみついた血の斑点が
手術臺のベッドの布に
深く、赤く
手術臺よ
生きようとして
お前の腹の上に横たわる人間を
助けてやつてくれ
細く青白い腕を
再生の喜びに満ちあふれる
健康な腕にしてやつてくれ
手術臺よ
虚空をつかんで
生きようとして死を恐れる彼等を
科学の室へ運んで呉れ
彼等にまつわりついた
死神を
追ひはらつて呉れ
冷やかな
緑色のボリユームの床に
車をつけた四つの脚は突立つ
銀色にいぶしたハンドルは
桃色に彩どる
たおやかな看護婦の指を待つ
絶望の底に一筋の光明を求める人等の
最後の望みの綱
それは手術
お前の力を借りることなのだ
手術臺は
冷たく固い
それでも
多くの人間を救うことが出来るのだ

（製作）

今週の話題

巷は総選挙のことが話題の種である。五当四落（五、〇〇〇万円では上る可能性があるが四、〇〇〇万円では駄目）が相場とかで、公明選挙も看板倒れになりそうだ。もはや地盤、看板、カバンに物をいわせて事前運動のたけなわとかもつぱらの噂である。

福岡三区久留米市より南部大牟田市までの三市六郡より定員五名に対して立候補が予想される顔ぶれは

自由党
元大臣　石井光次郎　久留米
〃　山崎、巌　みづま
現議員　龍野喜一郎　〃
〃　高橋權六　八女郡
前議員　堤　八郎　久留米
社会党左派
前議員　田中稔男　大牟田
社会党右派
〃　稲富稜人　みづま
改進党
現議員　荒木万寿夫　大牟田
前議員　樋橋　渡　久留米
農民協同党
島福　保次　三井

國會選擧迫る

大地評が推した田中稔男氏とはどんな人物か？

以上の歴々が予想されているなお大地評推薦の田中稔男氏の略歴は次の通りである。

五高時代社会思想研究会の指導分子となり熊本県下の労働運動や農民運動に関係、大正十三年秋共産主義者河内唯彦氏の提唱により結成された九州無産青年同盟に加わり、その年東大法学部政治学科に入り同時に新人会に参加、のち幹事長となつた。昭和三年東大を卒業直後歴史的な三、一五で検挙され未決拘留一年半に及んだが判決は懲役二年執行猶予五年であつた。翌六年蝋山政道氏の主宰する東京政経研究所の嘱託となり、津田塾大学を出て研究所の助手をしていた現在の夫人寿美子さん（現労働省婦人課長）と結婚した。昭和十二年に至り社会大衆党に入党して麻布支部長となり同党解散まで党籍を有していた。十三年東京市社会局嘱託、十四年東京都主事、失業者の一部を満州農業移民として訓練する目的をもつた興亜勤労訓練所の所長を命じられ職務の参考上満州の移民地や北海道の兵村を視察多くの収穫を得た。昭和十八年以降は日鉄の参事となり南方で活躍したがジヤカルタで終戦を迎え帰国後日鉄を退社社会運動に復帰すべく総同盟に入り西部同盟会主事に就任、更に労働戦線の民主的統一の必要を痛感、九州労働組合会議の結成を唱導して廿二年七月結成を見るや推されて初代議長となつた。現在社会党中央執行委員、日本中国友好協会常任理事、自由人権協会評議員等の肩書を有し良識ある運動家として信望が篤い。

社会黨左派
田中稔男氏

他鑛保安調査を終りて

（唐津鑛業所の巻）

書記次長　坂本　清

深い眠りより目覚めた緑の山を心地よい風にゆらぐ稲穂を電車はかすめる様に飛んでゆく、眠そうな顔にも何か晴々しさを含んで笑い興じている面々は、四山柴垣氏、西村氏、三川酒井氏、宮浦原氏、それに本部より坂本、以上の五名である。

×　　×

これは去る四日より実施された保安委員の他鉱保安調査第一班の西鉄急行電車の車内風景の一コマである。

一班の調査日程としては、泊三日の予定にして長崎潜龍鉱、佐賀唐津鉱の調査である。

やがて博多駅より筑豊本線に乗代えて、路玄界灘を右に、目的地唐津に向つた。

この附近は九州名勝地に数えられてその美景をたゝえられている虹の松原あり、その風景の美しさは唯々〃絶景かな〃の一語につきるといわれよう。唐津の海水浴場も進駐軍兵士も混え非常な賑いを見せているが、唐津市に降りた途端にきもを冷された事は市中の目抜通りを、うら若い女性達がまかり、ストリツプ的な水着にハイヒールをはいてかつ歩している事と、進駐軍の赤子の着物地の様な真赤なシャツをさも得意そうに着て歩いている事だ。我々が仮にその様な格好で歩いていたら、およそ有働病院送りは必至であろう。

唐津鉱業所とは住友鉱業系（旧井華）であり、在籍一、一七六名の鉱山であり出炭も月一万トン程度の鉱山である。

鉱山の状況を一通り説明すると斜坑は人事と炭車線に分れ、三交替を実施しているが変つている点は我々が毎日の出勤に気をもむ〃繰込場〃がないということであり待合所と〃発送所（着倒場）〃が有るだけである。これはこの程度の鉱山の特色でもあろうが、こゝに一切羽新しく切羽が作られ人員が配置されるとその人達は、その切羽が終る迄切羽の変更は行われず、常に同一切羽に稼働する。その為繰込の必要もなく繰込場もないという次第である。

炭券は不制の一寸幅二寸、長さ三分厚さであり、三川の払の様に一〇〇函以上の出炭が有る処はそれこそ炭函で炭券を送らねばならぬであろう。

坑内ボタは例によつてボタ山を築いているが、そのボタ函は三トン函であり、分速一五〇といわれているがその使用ロープは相当まめつし、その速さと比較し、万一の場合対策のないのに唖然とした。坑内に於ては炭丈五〇糎乃至一〇〇糎であり部内名も左部上三尺又は右部上三尺部内と呼ばれている採炭方式も一一五米のカッペを採用しているが、使用鉄柱が何んと七十五糎といえば如何なる個所で作業を行つているか分るであろう。

一行いずれもガマカエル式に四足行進を続けて現場に至るも、到底三池辺りより行つた者の耐えられるものではない。

保安課長は

やはり習慣ですね、以前、尺層を採炭していたものが急に五尺の処に応援に行つた処がその五尺層でもやはり寝ながらツルをつかつていた、全く笑えない話です

そこで一問質問を試みた

問　唐津鉱業所の採用について特別に条件がありますか？

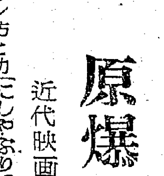
ありまます、それは背の高い者は採用できませんという事です

×　　×

然し乍らこの炭鉱の保安情況をのぞくと以前は延千人当り〇、八或は一、〇以上を占めていたにも拘わらず昨今では〇、四台に落着いている、僅か半歳足らずで半減達成が行われた半面には、保安補導員の活躍と組合員の積極的な協力であろう。

会社の保安対策も真剣に行われている、特に家庭に及ぼす保安教育については三池も大いに学ぶべき点と考える。

組合員に於てもその協力は、先ず鉄帽をかぶらぬ者が一人も見当らない手袋をしていないものがない（勿論会社が鉄帽又は手袋を着用しないと入坑させない）加えて坑内の裸体作業が全く見当らないそれが為か従来迄しばしば発生した頭部手足の怪我が激減したといわれている。昇坑後関係者を混えて保安に対する懇談会を開催したが、その内容は又次の機会に譲り次は潜龍を御紹介しよう。



愛と憤りで描く　原爆の子

近代映画協会劇団民藝

八月六日・ヒロシマ、赤ン坊と幼いこどもたち、女学生と中学生たち、家庭婦人と老人の、二十数万が、一発で虐殺された日です。八月九日・長崎とともに、こんなむごたらしいことは世界史にも前例がありません。倒れた母親の乳房にしやぶりついて生きのこつたこどもも、今はまる七つになりました。

あの日生きのこつた五、六才のこどもは十二、三にもなりました。こじきをしてもどろぼうをしても生きのこつたこどもたちは、みんな元気です。あの日の記憶はきのうのようにあざやかで、原爆の子は戦争と原爆を心からにくんでいます。えたいの知れぬ原爆症で、いまだにぽつくり死んでいく子もあります。少女は青春を迎えながら、ゆがんだ顔に原爆の傷痕が焼きついて消えません。結婚できた娘も、やがて不妊症であることがわかります。―こうして原爆の悲劇は、意外にひろくふかく、年とともにひろがつていくことがわかります。生き残つたことが、あまりにも悲しく残酷であつたのです。だが原爆の子等は、命とおとくながらえた身を、苦しみと屈辱にたえて、死んだたくさんの友の身がわりとなつて生きねばなりません。ヒロシマ出身の吉村公三郎（製作）と新藤兼人（監督）がふかい愛情といきどおりをもつて描くこの映画を世界中の人達に見せたいものです。

△出演者＝乙羽信子、小夜福子、滝沢修、宇野重吉、山内明、清水将夫、細川ちか子、北林谷栄ほか劇団民藝、原爆の乙女たち、ヒロシマの子供、市民、勤労者数百名協力出演

西原地域少年俳句会

永野鼎衣指導

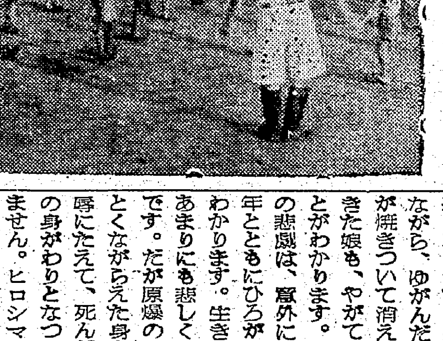
とりの草ふとればすぐ取るお母さん　かよ子
夕立にぬれて犬なくかわいそう　みつ子
我が家の近づき風鈴きこえくる
風鈴の音きくだけでこゝろよし　静香
七夕の色紙かざるたのしさよ
風鈴の音高らかに夕たのし　忠雄
水車まわるや畔が波立てる
誕生日とうきびの毛の色あかき　忠男
白百合の匂ひ教室静かなり
七夕の笹ゆれにけり電車行く　拓嗣
黒き服着ている社員も夏帽子
風鈴の鳴りて動くは炭車かな　はるみ
病める身は夕立つ音をたのしみぬ
窓近くほたる近づく淺瀬も
雨雲のかき乱れゆくトマト畑　哲雄
病床に静かなしらべ夏の雨
歌謡曲鳴りてたのしき星逢う夜
星の夜の浴衣の糊のふと硬き　鼎衣

夏に鍛えるよい子達

新港社宅のリクリエーション

午前六時ごろになると新港社宅金比羅神社附近は良い子で一杯である。バレーボール、キャツチボールと皆元気で飛び廻つている。六時三十分ごろになると長グツのオツサン川端氏が出て来て「オーイ集れ」とみんなに呼びかける。皆それぞれ列をつくつてスピーカーからながれて来るメローデーを聞く

「デワ元気で一、二、三」ラジオ体操が繰りかへされる。これは七月二十五日より同社宅で有志の人々が思い立つてラジオ体操や子供の学習又は運動を綜合的になしてよい子をそだて様と続けられて来たものである。習字の期間、ソフトボール大会の期間、ハイキングの期間をそれぞれ日程を組んでなされている。



訂　正

八日附本紙に公傷死として掲載された本所の赤瀬富福氏は、私傷死の誤りでしたのでこゝに訂正致します。